

美術館からのお願い

ご来館されたお客様に作品鑑賞をお楽しみ頂くため、また作品を大切に守り後世に伝えるために、ご理解、ご協力をお願いいたします。

美術館内でのお願い

○傘や大きな荷物は、持ち込まない

作品などにぶつかるおそれがあります。大きなお荷物はロッカー（ロッカーに入らないお荷物は受付でお預かりできます）を、長い傘は入り口前の傘立てをご利用ください。折り畳み傘はかばんに入れてください。お荷物は美術館の開館時間中のみお預かりできます。

○食べない、飲まない

食べ物や飲み物で作品を汚したりすると、虫害の危険があります。ミュージアムカフェ以外での館内での飲食（飴やガムを含む）はご遠慮ください。

○タバコは吸えません

館内は全面禁煙です。喫煙は美術館前の灰皿のある場所をお願いいたします。

○動物、植物は持ち込まない

作品をカビや害虫から守るため、動物や生花等の植物の持ち込みはできません。ただし身体障がい者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）は入館可能です。

○大きな声や音にご注意ください

館内は音が響きやすい構造となっています。会話の際は声の大きさにご配慮ください。また、音の出やすい持ち物や履物はお控えください。

○ほかのお客様にもご配慮ください

館内を走り回ると、作品にぶつかったり、すべったりするおそれがあります。また、ソファで寝そべる行為や飲酒されての観覧はご遠慮ください。

展示室内でのお願い

○展示室は暗い、寒い、暑い

温湿度の急激な変化や光は、作品を劣化させます。これらは作品保護のため、適切な条件で一定に保っています。体温調整のできる服装でご観覧ください。

○作品にはさわらない

作品が汚れたり、壊れたりするおそれがあるので、作品や展示ケースには触らないでください。展示壁にもたれたり、鉛筆などで指さしをしたりすることもしないようにしてください。

○撮影はご遠慮ください

作品保護や著作権上の理由から、写真（静止画）および動画の撮影はお断りしています。（ただし、関係者・報道機関が主催者の許可のもと撮影をする場合があります。）

○携帯電話・スマートフォン等について

ほかのお客様のご迷惑になりますので、展示室内での携帯電話、スマートフォンを含む電子機器のご使用はお控えください。なお、マナーモードに設定し、通話やメールはご遠慮ください。

○メモなどは鉛筆で

ボールペン、万年筆などインクが出る筆記具やシャープペンシルは、インクや芯が飛んで作品を汚したり、ペン先で傷つけたりするおそれがあるので、必ず鉛筆でお願いいたします。鉛筆は受付で貸出できます。

○地震や火事などの緊急時には

安全のため、必ず係員の指示に従って、あわてずに行動してください。